

安平町長

瀧 孝



輝かしい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から町政全般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から厚くお礼申し上げます。また、昨年の第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会におきましては皆さまのご協力もあり、無事滞りなく終えることができましたことは誠に喜ばしく、改めて関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

安平町長として3期目に入り3年目を迎えますが、若者が夢と希望を持ち、高齢者が生きがいと安らぎを持って暮らせるまちづくり、町内外の人々が回遊し交流するまちづくりを目指し、未来への夢と笑顔があふれる安平町を創つ

て参りたいと考えております。

さて、昨年を振り返りますと、職員による官製談合防止法違反並びに収賄罪が発覚し、当該職員が実刑判決を受けるという前代未聞の不祥事が発生いたしました。関係者並びに町民の皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけし、不安と不信を与えてしまいましたことに對しまして、改めてお詫び申し上げます。

町といたしましても判決を重く受け止め、公平で公正な職務の遂行と公務員倫理の一層の徹底を図り、町民の皆さまから真に信頼されるよう努力してまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨今の地方自治体を取り巻く環境は、急速に進展する少子高齢化の中、自ら知恵を絞り、自主性・自立性を発揮した地域経営が求められており、自治体自身が価値ある地域資源であることが極めて重要となっております。

このような中、安倍政権は地方創生を重要課題に掲げ、熱意ある地方の創意工夫を応援することで、人口減少の克

服と地域の活性化に取り組むこととしており、安平町といえども、個性を生かしながら地域の活力の維持・再生に取り組んでまいります。

2015年を代表する漢字は「安」に決定致しましたが、安倍政権のもとで安全保障関連法案の採否をめぐり国論を二分した点や、世界で続発したテロや異常気象などによって人々が不安になり、安全が揺らいだことなどが主な理由となっており、今年は安全で平和な社会を構築し、安心して暮らしていくことができる世の中であってほしいと願っております。

安平町におきましては、昨年9月には早来富岡地区において大規模太陽光発電所建設工事が着手され、本年9月の運転開始を目指して工事が進められております。また、12月1日には遠浅地区において国内最大級の太陽光発電所となるソフトバンク苦東安平ソーラーパークの運転が開始されましたが、次世代の自然エネルギー政策を進める上で、大きな推進力になるものと期待をしております。

安平町の主要な産業であります農業においては、低温や日照不足による影響が心配されましたが、収量及び品質ともに良好な作柄となりましたことは、農家の皆さまの努力の賜物であると深く敬意を表します。

しかしながらT P P交渉が昨年10月に大筋合意し、影響が予想される品目の経営安定対策の拡充や、農業の体質強化と成長産業化に向けた対策を講ずることとしているものの、予算や制度設計を含めて実効性の確保が課題となっており、経営の安定と経済の向上を目指していかなければならないと考えております。

一方、軽種馬産業においては、昨年6月に行われた宝塚記念でノーザンファーム生産馬であるラブリイデイ号が優勝したほか、多くの安平町産駒が国内主要レースで優勝いたしました。今年も多くの産駒がターフを疾走し、大いに活躍することが望まれます。

本年3月には、安平町が誕生して10年を迎えますが、秋には記念式典を予定しているほか、各種の10周年冠事業な

どを実施し、今まで以上に地域の一体感の醸成に努めてまいります。また、追分地区児童福祉複合施設整備や道の駅を拠点とした回遊・交流ステーション形成事業の展開などにより、子育て世代に選ばれ、生涯住み続けることができるまちの実現に向け、地域資源や可能性を分析しながら、地方創生に取り組んでまいります。

結びになりますが、心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めていくため、町民の皆さまと協働しながら、まちづくりのテーマである「くらしの笑顔が広がるぬくもりと活力と躍動のまち」実現のために努力していく所存でありますので、引き続き温かいご支援とご協力をご期待致します。

新しい年が、希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。